

二十周年記念さがみはら能

(午後四時三十分開演)

ごあいさつ

相模原市議会議員
能楽普及推進会相模原会長

稲垣 稔

相模原市長
能楽普及推進会相模原名誉顧問

加山 俊夫

神奈川県議会議員
能楽普及推進会相模原顧問

細谷 政幸

来賓
文部科学副大臣
衆議院議員

義家 弘介

【能楽解説】

金子 直樹

亀 松山 絢美
鶴 松山 結美

皇帝 松山 隆雄

【能】 鶴亀

後臣 矢野 昌平
大臣 村瀬 慧
従臣 村瀬 提
官人 山本 則孝

太鼓 安福 光雄
小鼓 田邊 恭資
太鼓 梶谷 英樹
一噌 幸弘

(午後四時五十分開演)

【能 鶴亀】

中国の王宮で新春の儀式が行われている。皇帝が月宮殿に入り玉座に着き、臣下たちから新年の祝賀を受ける。宮殿のありさまは、金銀珠玉に飾られてまばゆく輝き、まるで仙境さながら。毎年の嘉例で、宮殿の池のみぎわで鶴と亀が帝の長寿を祈って舞を捧げる。皇帝も大いに喜び、自身も袖をひるがえして舞う。臣下たちが舞にあわせて霓裳羽衣という曲を演奏すると、皇帝は国土繁栄を喜ぶ。

【仕舞 松風】

源氏物語・須磨の巻を題材の能「松風」。在原行平に寵愛を受けた松風・村雨の姉妹。仕舞は姉の松風が恋慕の舞を舞います。

【狂言 清水】

近頃世間では茶の湯が大流行、自分もお客を招こうと思い立った主人は、茶の湯に良いと聞く野中の清水へ行って水を汲んでくるよう、太郎冠者に命じる。夕方過ぎて清水に行くくと鬼が出ますと、太郎冠者は渋るが、主人は言うことを聞かない。一度くらいなら構わないがお客があるたびに行かされては困ると思った太郎冠者は、「清水に行ったら恐ろしい鬼が出て、危うく食い殺されそうになりました」と嘘を言う。太郎冠者が放りだしてきた秘蔵の桶惜しさに一人で清水へ向かう主人、太郎冠者は鬼に化けて主人を脅そうと後を追う。

ごあいさつ



国・重要無形文化財保持者(総合)
能楽普及推進会主宰
松山 隆雄
能楽師



相模原市議会議員
能楽普及推進会相模原会長
稲垣 稔

振り返る事もなく、こつこつと歩んで参りました「さがみはら能」は、お陰様で二十周年を迎える事が出来ました。これも偏に多くの方々を支えられ今日の有る事、心より厚く御礼申し上げます。

今回は二十周年記念行事とし、人間国宝・日本芸術院会員 梅若玄祥師に特別出演をお願いし開催させて頂きます。

能楽の道に入門し五十三年が経ちました。まだまだ通過点と思っております。この機会に松山能舞台を「能楽資料館」とし、毎月ショート公演を開催し、更なる能楽の発展を願い推し進めて参ります。

先人に感謝し、社会に御礼を申し上げ、ゆつたりと大切にまいりたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。



大勢の皆様にご支援していただき一歩一歩あゆんで参りました「さがみはら能」。二十周年を迎える運びとなり心より喜んでおります。

能楽普及推進会では、六百余年の歳月を生き続けている世界文化遺産「能楽」を後世に伝える為、微力ながらお手伝いが出来たらと活動致しております。

今後とも皆様、ご支援・ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

【仕舞】 松風

梅若 玄祥

(休憩十五分)

人間国宝・日本芸術院会員

【狂言】 清水

太郎冠者 山本泰太郎

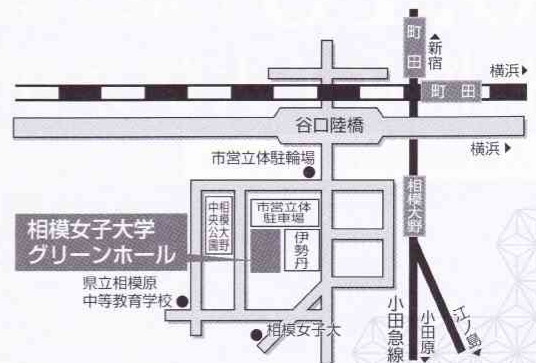
主 山本 則孝

(終了予定午後六時二十分)

集 募 員 会

能楽普及推進会

〒252-0303
相模原市南区相模大野2-17-7
TEL/FAX.042-748-2822



相模女子大学
グリーンホール
大ホール

相模原市南区相模大野4-4-1
TEL:042-749-2200

小田急線相模大野駅下車北口徒歩4分